

学位論文審査の結果の要旨

栗田春奈

本研究は、今般の情報化時代において IT 化がともすれば遅れているとの指摘がなされている農業分野において、公設農業研究機関における農業技術情報の発信並びに普及方法に関してスポットを当て、現状分析を行い、効果的な普及方法について検討を行ったものである。

まず、福島県農業総合センターのホームページのアクセス状況を解析し、アクセス数の時期的な変化やアクセス先、閲覧分野等の分析を行い、問題点を探った。その結果、利用者の動態に合わせたより利用しやすい内容に改良することができた。次に、タブレット端末を導入して営農指導を行っている JA たいせつの事例をアンケート調査により、農業技術の営農指導現場における先進事例として検討した。その結果、本手法による営農指導はその手軽さ、適時性等の点で従来の指導方法を上回っており、指導員、農家のいずれからも好評であった。このように IT 機器の中でも操作性や携帯性に優れたタブレット端末を利活用した営農指導が有望なツールとなり得ることを明らかにした。

最後に、需要が増加するモバイル機器に対応するために、パソコン向けの既存の私設ウェブサイト「作物学用語集」を用いて携帯電話版や Android 版のウェブサイト作成方法を検討した。公設の農業関係機関では IT 担当者が必ずしもその分野に習熟しているとは限らず、外部委託が予算的に厳しい今般では、専門知識がそれほどなくても簡易に利活用可能な技術が要望されている。本手法によれば従来よりも非常に簡易にアプリを作成可能であり、IT 管理担当者はもとより、普及指導員や営農指導員等による現場発のアイデアを即座に具現化することが可能になるものと考えられる。

以上のように、本論文は多くの知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は全員一致して、本論文が博士(農学)の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。